

札幌子ども会育成連合会北区支部など

副支部長 佐藤 欣一さん



〈写真右〉「ノースロード24フェスタ」には、近隣の子どもたちが多く訪れます。学生ボランティアも運営に参加し、幅広い世代の交流が生まれています。〈同左〉「子ども時代の楽しかった思い出を、都会の子どもたちにも体験してほしい」と佐藤さん。

●札幌市子ども会育成連合会
北区支部事務局/
TEL.011-736-5531

かけは「炭鉱のまちで育った私の原風景にお祭り、屋台、縁日があって、それが楽しくて懐かしい思い出として残っています。都会で暮らす子どもたちにも、そんな体験をさせてあげたいと思ったから」。実際に祭りに来る子どもたちの生き生きとした表情や、会場にあふれる親子の笑顔を見ていると幸せな気持ちになると言います。一方で、地域で子育てをしていたひと昔前とは違い、子ども会に携わる保護者もわが子が成長すると、活動を離れてしまうことが多く、事業継続の難しさも実感。子どもたちに故郷の優しい記憶を残してあげたい」。佐藤さんの思いはきっと未来につながっていくはずです。

2017年 発行 P53-54

北区北地区民生委員児童委員協議会

会長 紙谷 京子さん

2004年から始まった「ワンちゃんパトロール」。朝夕の犬の散歩に併せて地域の見守りを行う活動です。その後、子どもたちの下校に時間を変更するなど内容を見直し、2014年に「まもりんパトロール」と名称変更。開始時436人だった参加者は掲載時には802人に。



22号

2019年 発行 P67-68

篠路地区コミュニティネットワーク会議青少年部会

部会長 清水 和夫さん

篠路地域見守り隊は登下校時の見守り、公園パトロールなどの活動成果が認められ、2018年度「防犯功労団体」として全国表彰を受けました。地域の防犯や安全に関して功績が顕著な団体に対して贈られるもので、全国で38団体、そのうち北海道内は2団体が表彰されました。



23号

ノースウイング バックナンバーより

④



過去のノースウイングの記事を基に、活動内容を振り返ります。

詳しくは、北区ホームページや札幌市の図書館の電子書籍からバックナンバーを読んでみてください。

*団体名や肩書は掲載当時のものです



札幌市図書館

2019年 発行 P17-18

23号

鉄西第12町内会

会長 畠 真佐子さん

ノースウイング23号にて、「私たちの町内会は、「避難よりも近所同士で助け合う体制」を諦めずに、ゼロベースから「災害発生72時間、地域住民を地域で守る」新たな取り組みを開始します」と防災体制づくりの整備を誓った鉄西第12町内会。住民同士の「近助」の取り組みが広がりました。



鉄西第12町内会で制作した防災マップ